

研修テーマ	「東京都におけるウメ輪紋病（PPV）の発生現状と媒介虫の効果的な防除対策」	参加者	埼玉県支部 25名 他府県支部他 10名
講師	星 秀男氏 東京都立食品技術センター 副参事研究員	場所	「With You さいたま」 視聴覚センター室
資料	表題の解説書（パワーポイント資料）	記録	成山久広
目的	東京都における PPV の発生現状とそれに伴う被害拡大防止策及び防除方法を学ぶことで、昨年埼玉県内にも発生が確認されている状況をふまえ、更なる被害拡大防止の対策及び「PPV の現状」の再認識に役立てることを目的とする。		

※関東甲信地区協議会共催、樹木医 CPD プログラム認定研修会

研修内容

○ 東京都におけるウメ輪紋病の発生経緯（前半）

- ・PPV 感染による典型的症状の解説
- ・媒介者であるアブラムシの生態と防除対策
病徴は、ウメの品種やその部位によって多くの差異がある。
アブラムシの媒介が拡散原因であることから、その防除が肝要である など



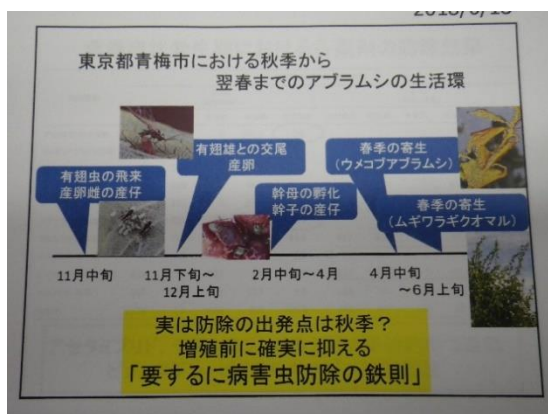
研修会風景



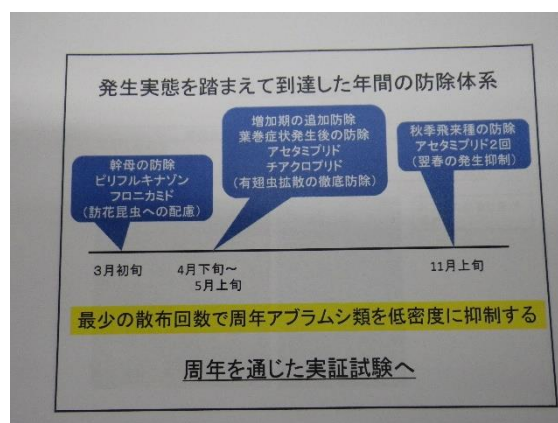
研修会風景

○ アブラムシの防除体系、近年の青梅市の現状（後半）

- ・近年の防除対策の実証試験の解説
- ・アブラムシ種の PPV 感染能の有無の解説
アブラムシの防除において、その防除時期及び使用薬剤における効果の比較
防除時期・使用薬剤の選択が重要 など



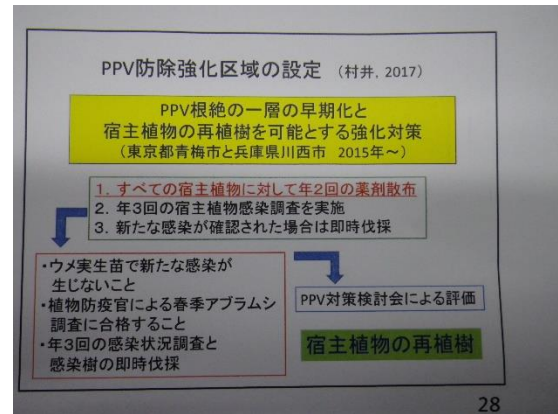
アブラムシの生活環



アブラムシの防除体系

2009 年に PPV の国内発生が明らかになって大きな衝撃を受けたことは言うまでもないが、蔓延の度合いが大きく・根絶がここまで長期戦になることは予想できなかった。

農業生産・観光・地域振興の影響を鑑み、青梅市は「PPV 防除強化区域」を設定し、ウメの再植樹を行うなど、産地再興を目指した活動が行われている。



- 講演会後は「PPV」に関する活発な質疑応答が行われ、非常に有意義な研修会となった。